

ゼロスペック

灯油配送のDX

新型スマートセンサーが実現



雪に埋もれたホームタンク

2020年に「スマートセンサー」をサービスローンチしたゼロスペック（札幌市・多田満朗社長）。当初は「従来の配送で問題はない」「余裕があるわけではないが、いまはなんとか回せている」など、緊急度の優先順位から導入を見送る事例も散見された。

その後4年が経過し、物流コストの増加、担い手不足などの問題は深刻さを増しつつある。新しいテクノロジーを利用して時代に即したサービスにアップデートすることは、顧客にとっても事業者にとっても大きな財産だ。センサーが集積したデータは配送の空打ちをなくし、より最適な配送先の選択肢を示すことも可能。そして「災害が起こったとき、センサーが稼働していれば、一番初めにかけつけるべきタンクがわかる」。スマートセンサーは革新的な灯油配送モデルを構築する好機を与えてくれる。